

○プログラムの目的

現代社会において、情報技術が社会インフラとしての役割を果たし、また、AI技術や統計的な分析が分野を問わず基本的な思考の道具として使われるようになってきています。

このような社会情勢に対応するべく、大学生に求められる情報技術を適切に利用するためのスキルを身につけることを目的としています。

○達成目標

さまざまなデータを利用するための情報技術について、そのしくみを実習を通じて理解することや、情報セキュリティに関する基礎知識を修得することを目標としています。

○実施体制

内部質保証推進委員会にて、実施状況を確認します。

<文学部>

○身につけられる能力

- ・情報機器の操作と、文書作成などの基本的技術の習得
- ・情報セキュリティやモラルの基礎知識の習得
- ・プログラミングを通じた情報技術の理解

○開講されている科目の構成

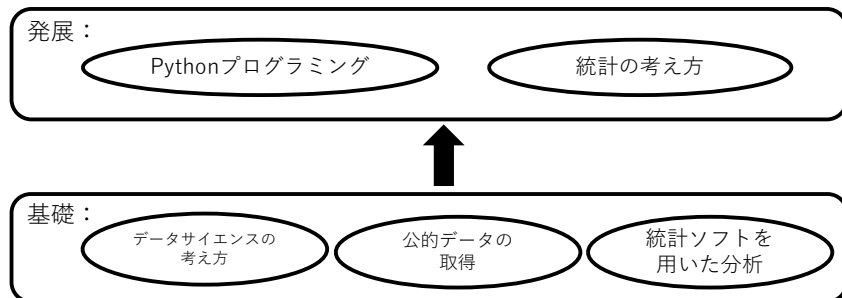
情報処理 1

○科目の特色

公的データなど実際に利用されているデータを用いた実習を行い、データ分析の背景にある統計学の基礎的な概念の理解と、データ分析との実習を紐づけて考える授業を展開しています。プログラミングを用いたデータ分析の基礎的な実習も行います。

○修了要件

情報処理 1 を修得すること。



<国際コミュニケーション学部>

○身につけられる能力

- ・情報セキュリティへの心得を醸成できる。
- ・数理的教養に親しみ、データを適切に読み解くことができる。
- ・データを適切に活用しながら他者に説明することができる。

○開講されている科目の構成

情報・データ処理基礎

○科目の特色

基本的なデータ活用やデータ分析の方法を学ぶことができます。その他、デジタル化社会で起きている変化や生成AIのインパクトなど、関連する社会的な話題についても触れ、情報・データリテラシーと社会の接続の理解を深めることができます。

○修了要件

情報・データ処理基礎を修得すること。